

家庭でできるお子さんの耳のきこえと言葉の発達のチェック表

～新生児聴覚スクリーニングマニュアル（一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会より）～

お子さんの成長・発達に併せてきこえの様子を定期的に確認しましょう。

下記のチェック項目の様子が確認できず、きこえや発達に心配がある場合は管轄の保健センターにご相談ください。（発達については個人差がありますので、あくまでも参考です。）

【0か月頃】

- 突然の音にビクッとする
- 突然の音にまぶたをぎゅっと閉じる
- 眠っているときに突然大きな音がするとまぶたが開く



【1か月頃】

- 突然の音にビクッとして手足を伸ばす
- 眠っていて突然の音に目を覚ますか、または泣きだす
- 目が開いているときに急に大きな音がするとまぶたを閉じる
- 泣いているとき、または動いているとき声をかけると泣きやむか動作を止める
- 近くで声をかけると（またはガラガラを鳴らす）ゆっくり顔を向けることがある

【2か月頃】

- 眠っていて急に鋭い音がすると、ビクッと手足を動かしたりまばたきをする
- 眠っていて子どもの騒ぐ声や、くしゃみ、時計の音、掃除機などの音に目を覚ます
- 話しかけると、「アー」「ウー」と声を出して喜ぶ（またはにこにこする）



【3か月頃】

- ラジオの音、テレビの音、コマーシャルなどに顔（または眼）を向けることがある
- 怒った声や、やさしい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり喜んだりまたはいやがったりする

【4か月頃】

- 日常のいろいろな音（玩具、テレビ、楽器、戸の開閉）に関心を示す（振り向く）
- 名を呼ぶとゆっくりではあるが顔を向ける
- 人の声（とくに聞きなれた母親の声）に振り向く
- 不意の音や聞きなれない音、珍しい音にははっきり顔を向ける



【5か月頃】

- 耳もとに目覚まし時計を近づけると、コチコチという音に振り向く
- 父母や人の声などよく聞き分ける
- 突然の大きな音や声に、びっくりしてしがみついたり、泣き出したりする

【6か月頃】

- 話しかけたり歌をうたってあげたりすると、じっと顔を見ている
- 声をかけると意図的にサッと振り向く
- テレビやラジオの音に敏感に振り向く

【7か月頃】

- となりの部屋の物音や、外の動物のなき声などに振り向く
- 話しかけたり歌をうたってあげたりすると、じっと口もとを見つめ、ときに声を出して答える
- テレビのコマーシャルや、番組のテーマ音楽の変わり目にパッと向く
- 叱った声（メッ！コラッ！など）や、近くで鳴る突然の音に驚く（または泣き出す）

【8か月頃】

- 動物のなき声をまねるとキャッキョッと喜んで喜ぶ
- 機嫌よく声を出しているとき、まねてやると、またそれをまねて 声を出す
- ダメッ、コラッなどというと、手を引っ込めたり、泣き出ししたりする
- 耳もとに小さな声（時計のコチコチ音）などを近づけると振り向く



【9か月頃】

- 外のいろいろな音（車の音、雨の音、飛行機の音など）に関心を示す（音のほうにはっていく、または見まわす）
- 「オイデ」「バイバイ」などの人のことば（身振りを入れずにことばだけで命じて）に応じて行動する
- となりの部屋で物音をたてたり、遠くから名を呼ぶとはってくる
- 音楽や、歌をうたってやると、手足を動かして喜ぶ
- ちょっとした物音や、ちょっとでも変わった音がするとハッと向く

【10か月頃】

- 「ママ」「マンマ」または「ネンネ」など、人のことばをまねていう
- 気づかれぬようにして、そっと近づいて、ささやき声で名前を呼ぶと振り向く



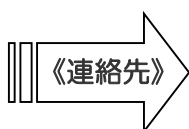
【11か月頃】

- 音楽のリズムに合わせて身体を動かす
- 「・・・チョウダイ」というと、そのものを手渡す
- 「・・・ドコ？」と聞くと、そちらを見る

【12～15か月頃】

- となりの部屋で物音がすると、不思議がって、耳を傾けたり、あるいは合図して教える
- 簡単なことばによるいつけや、要求に応じて行動する
- 目、耳、口、その他の身体部位をたずねると、指をさす

心配なことがあれば、管轄の保健センターにご連絡下さい。



東保健センター	072-982-2603
中保健センター	072-965-6411
西保健センター	06-6788-0085